

備前3市民病院が刷新

「日生」は3月、「吉永」4月開院



3月1日に開業する備前市立日生病院

合併した3市町それぞれにある備前市立3病院のうち、移転新築する日生病院（旧日生町立日生病院）が3月1日、吉永病院（旧吉永町立吉永病院）が4月中旬、移転先で開業する。備前病院も衣替えを検討中で、それぞれ地域診療の拠点として一新される。

新しい日生病院は現病院から約1.5キロ東で、病棟は4階建て6500平方メートルあり、現病院の約2倍。診療科8科目は同じ。一般病棟を現在の92床から40床に減らす代わりに、療養病床52床を新設する。これまで岡山、倉敷両市、兵庫県内の病院に頼っていた長期入院の療養患者を受け入れられる。病棟は日生港に面して

おり、リハビリ室など南側病室からは海の眺望が楽しめる。開業準備のため2月22と28日は休診する。2004年12月に着工、事業費は23億4800万円。

新しい吉永病院は現病院から約500メートル南西のJR吉永駅南。病棟は3階一部4階建て5500平方メートルで、現在の約2倍。診療科目は、一般病床50床は変えず、ゆったりとしたスペース

になる。05年4月に着工し、事業費は17億8600万円。デイケアセンター、保健部門や居宅介護支援事業所の入った総合保健施設

（2階建て1200平方メートル）を併設する。両病院とも建築後、40年経過して老朽化、昨年3月の合併前から移転新築

が計画されていた。一方、築後35年の備前病院については、地元医師会や大学、保健所などで構成する同病院検討委員会が、

これら3病院間や地元開業医との連携、経営形態、建て替えなど将来像を協議しており、3月までに西岡憲康市長に答申する。